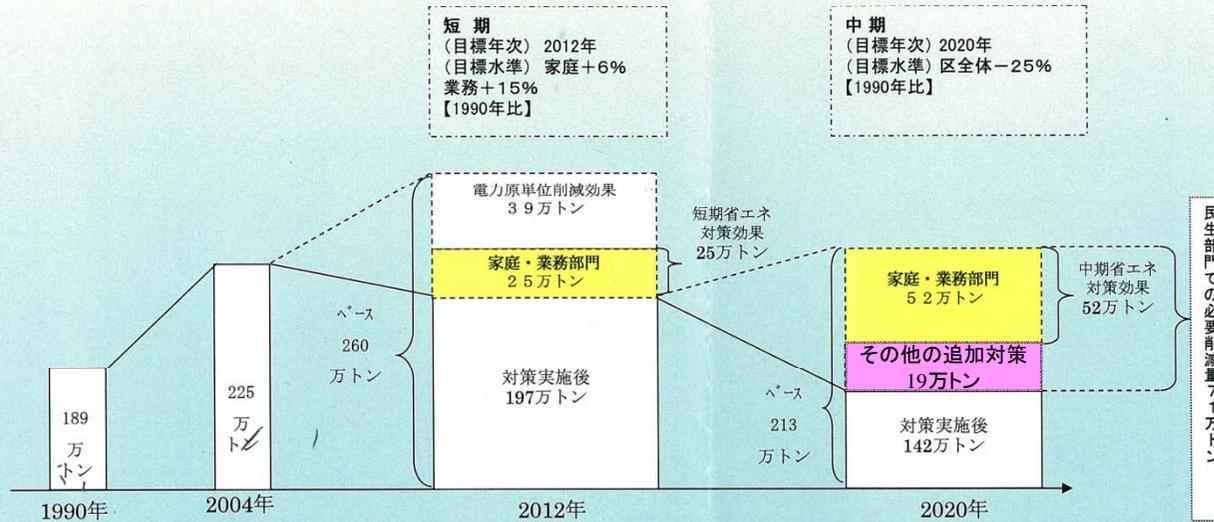


## 4-2.大都市の低炭素化シナリオ・イメージ 千代田区

### 千代田区での試算例(民生業務+家庭)



出典:千代田区地球温暖化対策懇談会提言  
(H19)

短期(2004年～2012年);京都議定書目標達成計画を満たすような水準の対策を実施すると設定

中長期(2013年～2020年);13年からの個別対策に目標達成計画を超える水準の対策を実施しても千代田区設定のCO2削減目標を達成できないため、面的対策が必要

※なお、電力原単位については2012年以降の性能向上は見込んでいない

## 4-4. 地方都市中心市街地での再生可能エネルギー活用の検討 (長野県飯田市)

長野県飯田市（人口約10万人）をフィールドとして、地方都市で再生可能エネルギーを活用するタウンエコエネルギーシステムについての検討

<タウンエコエネルギーシステムとは>

- ・地域固有の再生可能エネルギーを中心市街地の複合街区等で有効に活用することを目的とした面的分散型システム。
- ・木質バイオマス・太陽エネルギーなどの再生可能エネルギーや河川水などの未利用エネルギーをそれぞれの地域特性に合わせて選択し、効率的に中心市街地に供給することを目的としたシステム。

○都市空間のエネルギー供給基地化（エコエネスポットの形成）

→太陽熱パネルやボイラーなど再生可能エネルギーの供給システムを設置する場所として以下のような空間の活用が考えられる

これらを低炭素まちづくりの都市計画において位置付け。

- ①街なか居住などにより街区更新が行われる街区内の公開空地
- ②公共施設の敷地や屋根
- ③青空駐車場などの低未利用地

○エコエネスポットを中心としたエコエネユニットの形成

→エコエネスポットによって生み出された再生可能エネルギーを街区内だけではなく、周辺の建物にも供給。

簡易な熱配管により、一定の半径の範囲をユニット化。分散型システムを構築。

## <飯田市における再生可能エネルギー活用モデル>

### ○街区更新に対応する複数再生可能エネルギーのパッケージ

- ・ 太陽エネルギーと木質ペレットを組み合わせたエネルギー供給システムを導入する
- ・ 建築物（街区）の熱需要の全量を再生可能エネルギーで賄うことを目標とし、システムの組み立てを行う

### ○都市空間の有効利用による再生可能エネルギーネットワーク

- ・ 街区更新によって生まれた広場や青空駐車場に太陽熱集熱器を設置。街区内通路（裏界線）に配管を布設して街区内に供給するなど、都市空間を活用したエネルギーネットワークを構築。

### ○既存建築物への再生可能エネルギー供給

- ・ 隣接する既存建築物に対して熱交換器等の設置により、再生可能エネルギーによる熱エネルギーの供給を行う

